

アルインコ株式会社 2026年3月期第3四半期 決算補足説明資料

2026年 2月 2日
証券コード : 5933

<https://www.alinco.co.jp/>



2026年3月期第3四半期 連結業績

- ✓ 売上高は前年同期比2.3%増、営業利益は同5.3%増と堅調に推移した。
- ✓ 経常利益は、円安の継続によって為替差益が減少したことから、前年同期比0.4%減と前年同期並みとなった。
- ✓ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益が前年同期比1.7億円減少したことなどにより、同7.9%減となった。

(単位：百万円)

	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	2026年3月期 3Q		2026年3月期 通期	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	実績 (売上比)	前年同期比 増減額 (増減率)	予想 (売上比)	3Q進捗率
売上高	44,692 (100.0%)	47,197 (100.0%)	48,275 (100.0%)	+1,078 (+2.3%)	63,500 (100.0%)	76.0%
営業利益	1,916 (4.3%)	2,043 (4.3%)	2,151 (4.5%)	+107 (+5.3%)	3,100 (4.9%)	69.4%
経常利益	2,793 (6.2%)	2,641 (5.6%)	2,630 (5.4%)	△10 (△0.4%)	3,300 (5.2%)	79.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,916 (4.3%)	1,775 (3.8%)	1,635 (3.4%)	△140 (△7.9%)	2,180 (3.4%)	75.0%

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2026年3月期第3四半期 セグメント情報

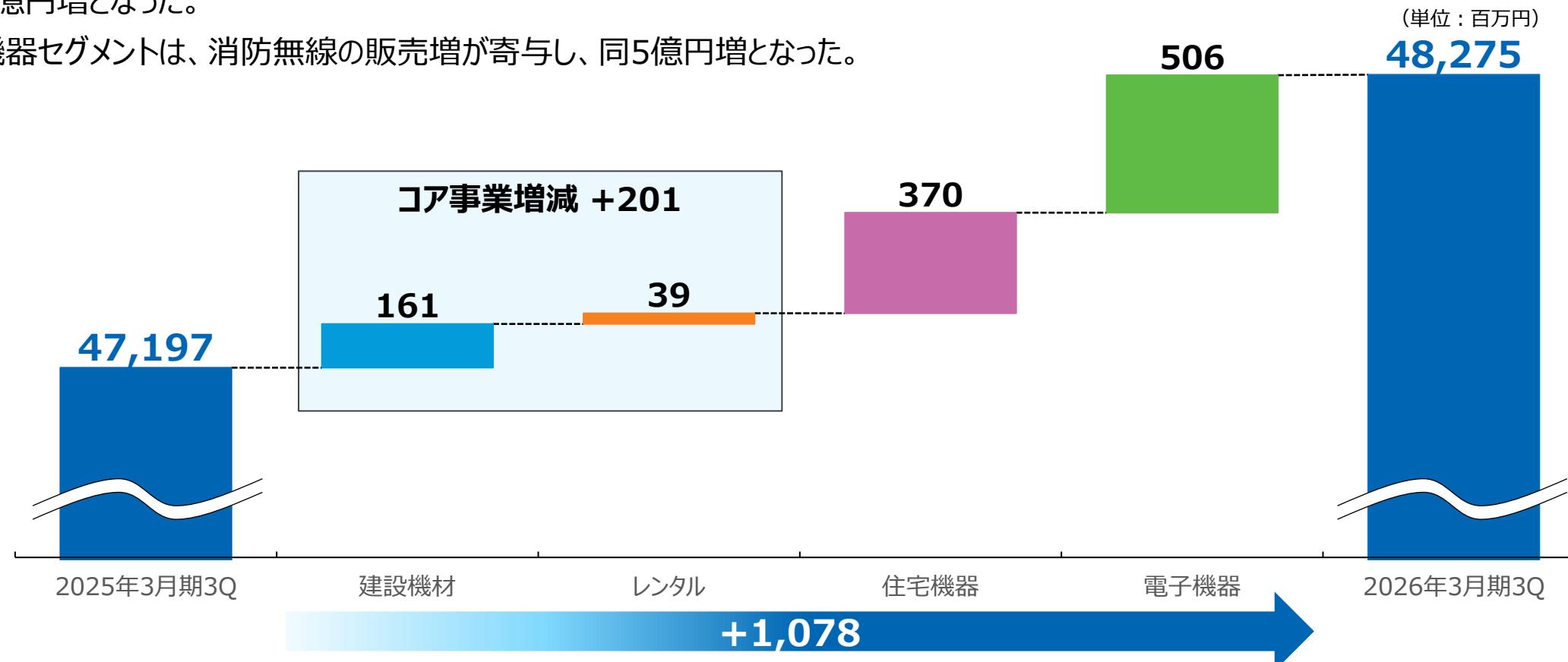
- ✓建設機材セグメントでは、将来の建設計画に備えた計画的な調達ニーズに対応し売上高は増加したものの、利益率の低い製品の販売が多く占めたことから、セグメント利益は減少した。
- ✓レンタルセグメントでは、レンタル資産の稼働率が堅調に推移し、売上高は増加。損益面では、仮設機材レンタル会社による”購買からレンタルへ”的向に対応すべく積極的なレンタル資産への投資を継続していることから減価償却費が増加し、セグメント利益は減少した。
- ✓住宅機器セグメントでは、コメ価格高騰による農家などの自家用米備蓄ニーズから玄米保冷庫の販売が好調に推移。また、フィットネス関連製品も比較的高額品に販売回復の傾向が生じ、新製品をタイムリーに発売した結果、売上高が増加しセグメント損失を改善。
- ✓電子機器セグメントでは、消防無線が更新需要により前年同期比190.6%増となり、売上高が増加した。

(単位：百万円)

上段：売上高 下段：セグメント利益	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	2026年3月期 3Q		2026年3月期 通期	
	実績	実績	実績	前年同期比 増減率	予想	3Q進捗率
建設機材関連	16,442 1,985	19,077 1,869	19,239 1,607	+0.8% △14.0%	23,800 2,053	80.8% 78.3%
レンタル関連	13,543 589	13,797 1,240	13,837 1,179	+0.3% △4.9%	18,750 1,454	73.8% 81.1%
住宅機器関連	10,761 △193	10,663 △339	11,034 △161	+3.5% —	15,100 △310	73.1% —
電子機器関連	3,944 △20	3,659 △443	4,165 △357	+13.8% —	5,850 △97	71.2% —
調整	— 433	— 315	— 362	— —	— 200	— —
全社合計	44,692 2,793	47,197 2,641	48,275 2,630	+2.3% △0.4%	63,500 3,300	76.0% 79.7%

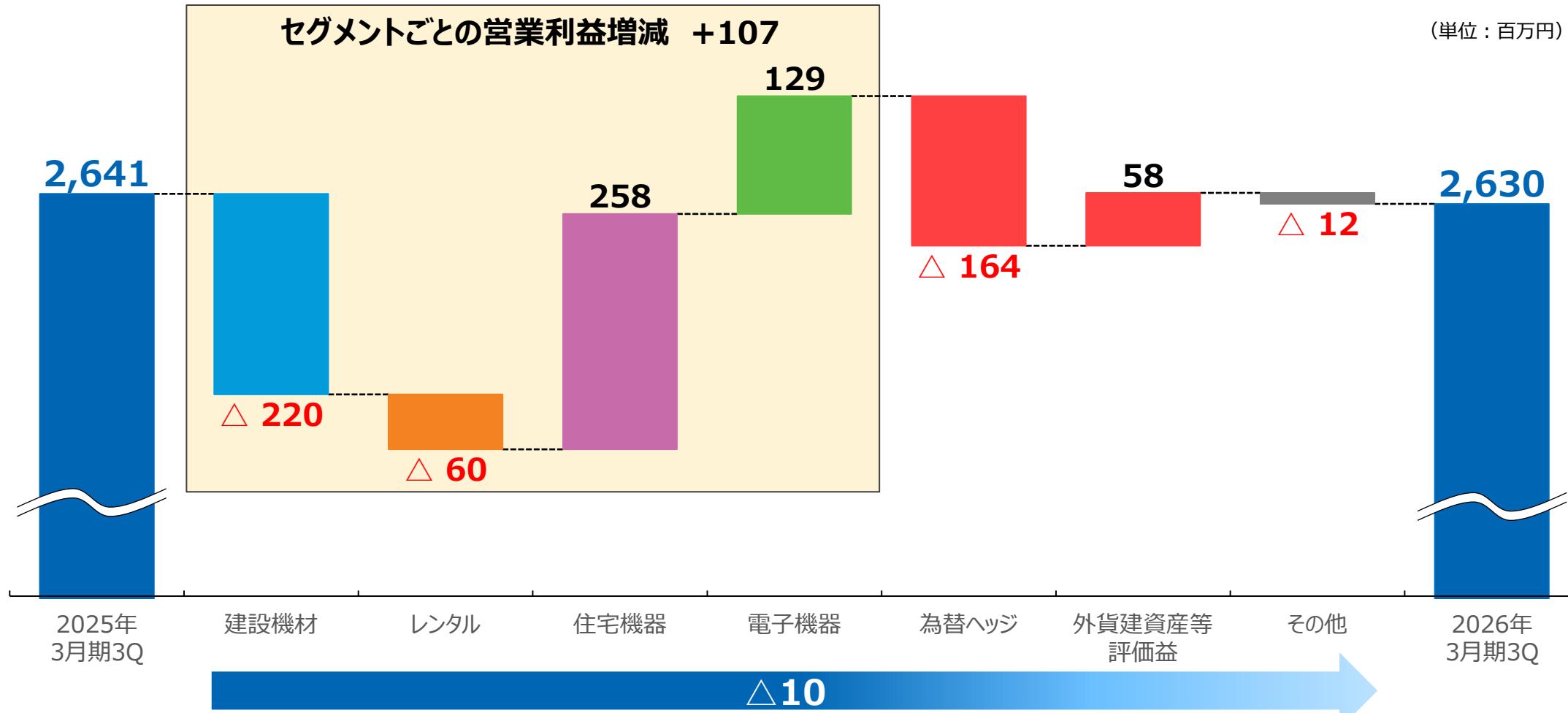
2026年3月期第3四半期 セグメント別売上高増減

- ✓コア事業においては、仮設機材レンタル会社による“購買からレンタルへ”的動きが継続するなか、一部では将来の建設計画を見据えて計画的に購買を検討する兆しも見え始め、主力製品の「アルバトロス」が売上高増加を牽引し、前年同期比3.1億円増となった。一方、物流関連製品の販売は同1.5億円減となり、建設機材セグメントとしては同1.6億円増となった。また、レンタルは中高層用では主要な製品群の稼働率が順調に推移し、低層用では施工人員が安定し着実な受注対応を進めることができ、同0.4億円増となった。
- ✓住宅機器関連製品は前年同期比0.8億円増、フィットネス関連製品は同2.8億円増となった。これにより、住宅機器セグメント全体では同3.7億円増となった。
- ✓電子機器セグメントは、消防無線の販売増が寄与し、同5億円増となった。



2026年3月期第3四半期 経常利益増減

- ✓ 営業利益は、住宅機器や電子機器セグメントの利益増加が建設機材やレンタルセグメントの利益減少を補い、前年同期比1.0億円増となった。
- ✓ 経常利益は、円安の継続によって為替差益が減少したことから、為替差損益の影響が縮小し、前年同期比0.1億円減となった。



2026年3月期第3四半期 連結財政状態

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期 3Q	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期比 増減額 (増減率)
流動資産	43,194 (60.9%)	44,034 (60.6%)	+840 (+1.9%)
固定資産	27,689 (39.1%)	28,624 (39.4%)	+935 (+3.4%)
資産合計	70,883 (100.0%)	72,659 (100.0%)	+1,776 (+2.5%)
流動負債	21,739 (30.7%)	21,715 (29.9%)	△24 (△0.1%)
固定負債	17,149 (24.2%)	18,492 (25.5%)	+1,342 (+7.8%)
負債合計	38,888 (54.9%)	40,207 (55.3%)	+1,318 (+3.4%)
純資産	31,994 (45.1%)	32,451 (44.7%)	+457 (+1.4%)
負債・純資産合計	70,883 (100.0%)	72,659 (100.0%)	+1,776 (+2.5%)
自己資本比率	45.1%	44.7%	△0.4ポイント
D/Eレシオ	0.81倍	0.82倍	—

主な増減要因(百万円)

流動資産

受取手形・売掛金	+1,250
たな卸資産	△368

固定資産

レンタル資産投入	+1,356
レンタル資産減価償却費	△747

固定負債

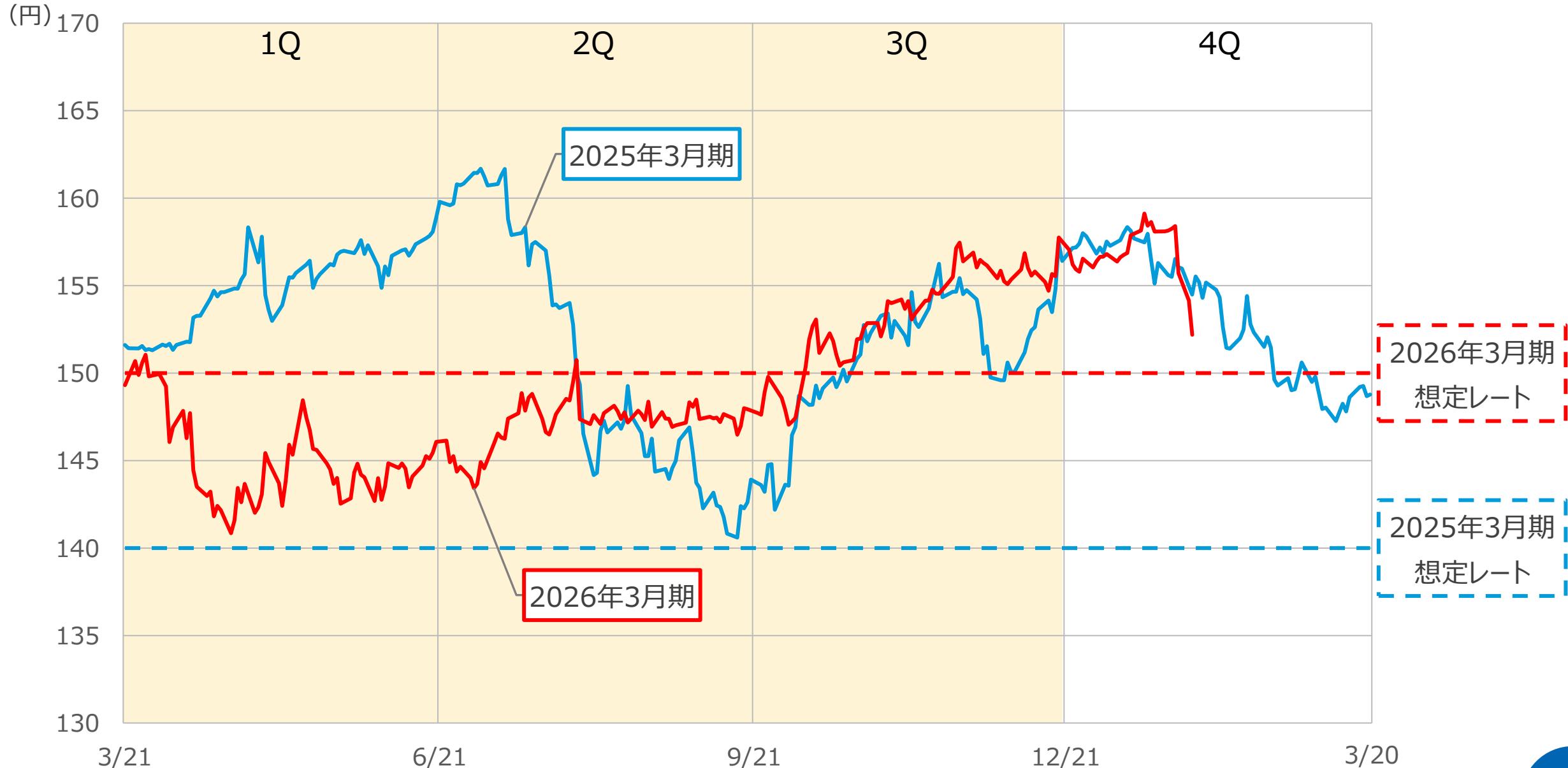
長期借入金	+1,162
-------	--------

純資産

親会社株主に帰属する四半期純利益	+1,635
配当金の支払	△877

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

【ご参考】ドル／円相場の推移



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は現時点入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいようお願い致します。本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【お問い合わせ先】

アルインコ株式会社 経理本部 IR室

大阪市中央区高麗橋4-4-9 淀屋橋ダイビル

E-mail : alinco-ir@alinco.co.jp